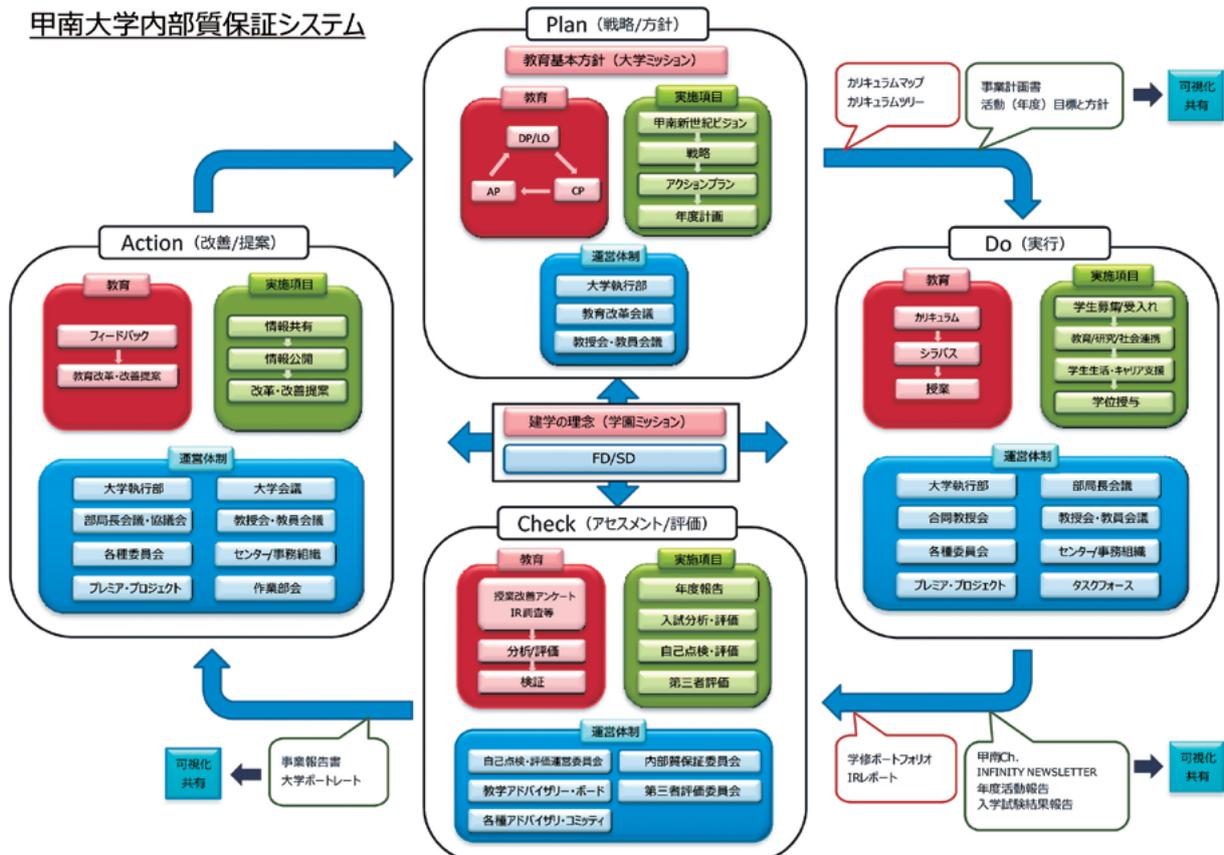


3. 教育改革の基盤整備

入口(入学)から出口(卒業)までの大学教育の質保証をより確かなものにしていくために、以下の図に示す内部質保証システムを構築・運用していきます。これは、大学教育の質的転換の断行を支える体制の整備のために、入学から卒業までの一貫した体系的な教育課程を確保し、学修成果の把握・評価に努め、「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP)および「入学者受入れの方針」(AP)の3つのポリシーにもとづく持続的な教学マネジメントの確立をはかるものです。また、当面の重要課題となる高大接続改革について、DP・CPの見直しとカリキュラム体系の整備、APの見直しと入学者選抜改革および組織体制整備、高大接続プログラムの開発と展開に取り組みます。

加えて、甲南大学の圧倒的な強みのひとつである各界で活躍する卒業生の力を教育改革に活かすために、大学の教育・研究活動に対して助言および支援を得ることを目的とした「甲南大学教学アドバイザー・ボード」が稼働しています。メンバーは、各地甲南会(同窓会組織)から推薦された甲南大学卒業生であり、現役社長、会長としてご活躍の方々を中心に約20名で構成されています。原則として年2回開催するボード会議では、大学が直面するテーマについて、学長、大学執行部、部局長とのディスカッション、提言作成を行い、大学の施策に反映していきます。



注) 上記の略語は次の用語を示す。
 DP: ディプロマ・ポリシー、CP: カリキュラム・ポリシー、AP: アドミッション・ポリシー、LO: ラーニング・アウトカムズ、FD: ファカルティ・ディベロップメント、SD: スタッフ・ディベロップメント、IR: インスティテューショナル・リサーチ